2023～2024 会報 RI第2720地区

Rotary

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算３１８０回
2023年10月27日
第１５回例会

Create hope in the world
世界に希望を生み出そう

2023～2024年度 RI会長
ゴードンR.マッキナリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ
フェイスブックページ
[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2023～2024年度 人吉ロータリークラブテーマ
コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう

本日の例会

- 国歌斉唱・Rソング斉唱
- 来訪者紹介
- 会長の時間
- 幹事報告、出席率報告
- 寄付の申し出
- 会務報告
- 地域発展功労者表彰式
- 寄付カード

点　鐘　　北 昌二郎　会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ　安達 玄一　委員

国 歌　「君が代」
ＲＳ　「それでこそロータリー」

司会・進行　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　竹長 一幸副委員長

来訪者紹介　　北 昌二郎　会長

ＪＲ九州熊本支社人吉駅長　川本 康昭 様

会長の時間

会長　北　昌二郎

皆さんこんにちは、本日は井手委員長によります、地域発展功労者表彰ということで、今回は功労者の“しゃ”は、者ではなく車のしゃとして、ＳＬ人吉を表彰いたします。ＪＲ九州を代表して頂き、川本人吉駅長さんにお越し頂きました。後ほどご挨拶と卓話を頂きます。よろしくお願い申し上げます。

さて、いきなりですが、本日のパスト会長所信シリーズは今から10年前2013年～2014年第５７代会長渡辺洋文会長年度をご紹介いたします。幹事は本日お世話を頂きました井手委員長さんですから、時宜を得たご紹介ではないかなと我ながら感心しております。

さて、テーマはこれまで誰も使用していない全文英文字で「DREAM・PASSION・EMOTION」です。サブテーマが「夢に向かって情熱を持って行動し感動を共有する。」です。

目的として、「変化」無駄をなくす事と組織を活性化させる事を唱えていらっしゃいます。ダーウインの「種の起源」を紹介してあります。「強いものが生き残るわけではない、賢いものが生き残るわけでもない唯一生き残るのは変化するものである。」「変化しないとロータリーも生き残れないかも知れない。生き残っても衰退する。そのためには夢に向かって情熱を持って行動し感動を共有できればいいと思う」と結んであります。

この変化という言葉は、私の経営理念である「不易流行」にも通じるものがあります。不易流行とは江戸時代の松尾芭蕉の俳諧理念の一つと言われており変化するものと変化しないものを見極めることの大切さ、それを踏まえて、当社では、世の中の変化に対応する企業として事業を展開しております。まさに変化に対応出来たものだけが生き残るという言葉に重みを感じた次第です。

本日のＳＬ人吉に対する表彰もロータリーの変化の一つと捉えて頂ければよいと思います。これまで

人格のある個人、団体に対して表彰をしておりました。表彰状を書いて頂きました鳥井パスト会長も、今回は違和感を感じられたことだと思います。無理のある私の思いを表彰状にして頂きました。鳥井パスト会長本当にお世話になりました。後ほど鳥井パスト会長に書いて頂いた表彰状をプロジェクタにてお見せいたしますのでご覧ください。その内容には感動すると思います。

　そのような訳で表彰状は出来上がりましたが、今回のＳＬ人吉の功績は、皆様が疑いの余地はないはずであります。大正11年生まれの日本で最古の現役蒸気機関車として、昨年100才を迎えたＳＬ人吉に対して、そして今年度で引退をするＳＬ人吉に感謝をしたいという強い思いが今回の表彰となった訳であります。更にお知らせですが、商工会議所として来年１月２２日に「さよならＳＬ人吉」と名打って、貸切運行を計画しています。是非多くのロータリー会員の皆様に参加頂ければと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。最後に

　本年の人吉ロータリーのテーマは「コ・クリエーション（共創）復興の希望を生み出そう」です。
会長の時間をおわります。

幹事報告

幹事　小笠原賢治

地区からのお知らせはありません。

〇11/10例会の会場変更について
場所；肥後銀行人吉支店２階　大会議室
駐車場は、あゆの里の第２、第４駐車場をお借りします。銀行の駐車場は来店客用のため駐車はご遠慮ください。

人吉ＲＣ例会行事 予定
11/3　休会
11/10　Ｒの友紹介、新会員卓話 吉沢会員
　　場所；肥後銀行人吉支店２階 大会議室
11/17　米山奨学生招待卓話

出席率報告

委員長　平田フク

現　会　員　数	48名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	47名	本日の出席率	
欠　席　者　数	21名	55.32%	
出　席　者　数	26名		
免除会員出席数	0名	ZOOM(0)　会場(26)	

≪　寄付の申し出　≫

　安達玄一会員より「亡母会葬御礼」として、人吉ＲＣ奨学基金委員会へご寄付がありました。

会務報告

【地区公共イメージ委員会】　副委員長 石蔵尚之
・豊岡ＩＡＣよりお礼
　ご記憶の方もいらっしゃると思いますが、青木会長年度に兵庫県の豊岡ロータリークラブからローターアクトクラブ、インターアクトクラブの皆さんを連れて創立70周年記念事業の一環「命を考えるスタディーツアー」研修として鹿児島～熊本に来られました。被災したこの人吉球磨にもお立ち寄りいただき人吉ＲＣ新年会にも参加され、翌日はひまわり亭にて防災食体験講座で学ばれました。

　その後、改めて８月に人吉にお見えになり、青木パスト会長のところで被災状況を見学、そして本田パスト会長のひまわり亭で防災食作りを学ばれて帰られました。

　豊岡インターアクトクラブが皆様にお礼の気持ちを伝えていただきたいということで農園で育てたサツマイモが送ってきております。皆様ぜひお持ち帰りいただいて調理をしてください。

・10/28九州4地区合同公共イメージ向上イベント
　基調講演One Q-shu ロータリーが繋ぐ未来講演会
　講師 坂本精志氏 10/28(土)15時～16時

【2024～2025年度地区ラーニング委員会】
副委員長 中川貴夫

　明後日29日(日)大分市コンパルホールにて開催のRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）パートⅢへ行って参ります。RLIに興味のある方がいらっしゃれば来年ぜひ参加して頂ければと思っております。パートⅠ・パートⅡのいずれか若しくは両方を受講された方は是非受講してください。宜しくお願い致します。

【地域発展委員会】

2023-2024年度地域発展功労者(車)表彰式

被表彰者(車)紹介

地域発展委員会委員長　井手富浩

人吉ロータリークラブの67年に及ぶ永い歴史の中で、伝統的な多くの事業活動の一つとなっております。本日の、地域発展功労者(車)表彰は、2004～2005年度宮山会長年度に開始され、地域の発展に功労のあった多くの団体、個人に授与されてまいりまして、本年で19回目となります。

それでは、被表彰者(車)を御紹介させて頂きます。　本年度はJR九州「SL人吉」です。
これまでの団体、個人とは対象は異なりますが、私達のふるさとに観光振興他大きな貢献をして頂いた永い歴史と人格を持った蒸気機関車「SL人吉」です。
後程、JR九州熊本支社人吉駅長 川本康昭様より詳しい卓話をして頂きますが、「SL人吉」8620型　通称ハチロクは、大正11(1922)年に誕生し、湯前線でも活躍しました。
昭和50年に一旦廃車となり、矢岳駅の展示館で保存されていましたが、昭和63年に「SLあそBOY」として復活し、人吉へも「SL人吉号」として里帰り、平成17年に老朽化により引退しておりました。
そして、平成21年4月25日「SL人吉」として、再復活し、地域の観光活性化に大活躍して頂きました。
しかし、令和2年の豪雨災害により、人吉熊本間の運行が不可能となり、令和3年3月より現在まで熊本鳥栖間を運行されておりますが、来年3月をもって、現役としての役目を終え引退する事となりました。
今後、まだ正式に決まったことではありませんが「SL人吉」が人吉駅を「終の住処」として動態展示等の計画も進んでいる様です。これまでの100年そしてこれから先何年も我々のふるさとの発展への貢献に感謝申し上げ、表彰させて頂きます。ありがとうございました。

それでは、これより卓話を頂きますが、JR九州熊本支社人吉駅長 川本康昭様のプロフィールをご紹介いたします。

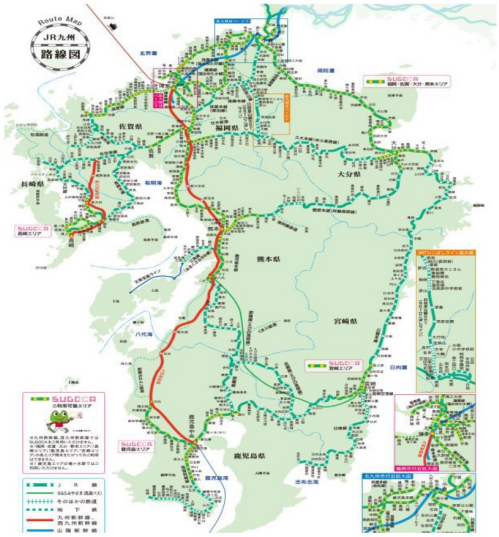
川本康昭様　昭和49年生まれ　熊本市のご出身でございます。
平成5年に九州旅客鉄道株式会社(JR九州)に入社され、平成21年小倉駅助役を皮切りに平成23年熊本駅助役、平成27年久留米駅副駅長、平成31年小倉駅副駅長、令和3年新水俣駅長を歴任され、令和4年より当人吉駅長に就任され現在に至っておられます。
それでは、川本様宜しく御願い致します。

受賞記念卓話

ＳＬ人吉(ハチロク：8620形)について

2023年10月27日(金)

九州旅客鉄道株式会社
人吉駅長　川本　康昭

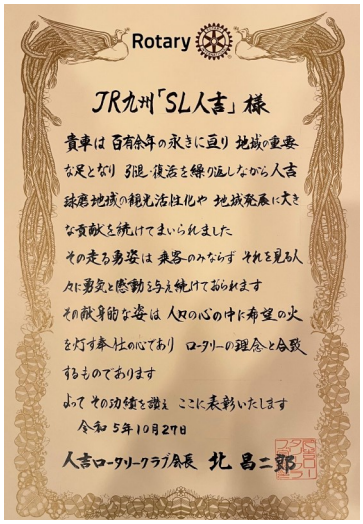


「ＳＬ人吉の歴史」

- １９２２年（大正１１年）　日立製作所　笠戸工場（山口県）で新製
- 同　年　浦上機関庫配置　長崎本線にて運転
- １９４９年（昭和２４年）　西唐津機関区転属　唐津線にて運転
- １９６１年（昭和３６年）　行幸啓（お召列車）佐賀～唐津間牽引
- １９６４年（昭和３９年）　若松機関区転属　筑豊本線等にて運転
- １９６８年（昭和４３年）　人吉機関区転属　湯前線にて貨物牽引
- １９７５年（昭和５０年）　廃車、その後、肥薩線の矢岳駅に展示される
- １９８８年（昭和６３年）　「SLあそボーイ」「SL人吉号」として復活
- ２００５年（平成１７年）　台枠の歪みが原因で、運転休止
- ２００９年（平成２１年）　４月２５日「ＳＬ人吉」として復活　熊本～人吉間を運行
- ２０２０年（令和２年）　豪雨により肥薩線甚大な被害→運行不能
- ２０２１年（令和３年）　熊本～鳥栖間を運行
- ２０２４年（令和６年）　３月２３日　最終運行（予定）
- 営業路線上を営業運転できるＳＬの中では日本で最も古い

ＳＬあそＢＯＹ　　ＳＬ人吉

表彰状、記念品贈呈　　会長　北　昌二郎



謝辞

会長　北　昌二郎

ＳＬ人吉の引退が発表されたのが昨年の10月24日でした。全国の鉄道ファン、人吉の観光関係者に大きな衝撃が走ったのを思い出します。その当時、復旧復興に向けて頑張れるのは、肥薩線の再開の折にはＳＬ人吉が多くの観光客とともに人吉駅に帰ってきてくれるという希望があったのです。残念ながらＪＲ九州の決定に意見する立場にはありませんが、本当に残念でたまりません。歴史的に貴重な日本のＳＬの技術者の育成は国策としてやらなくてはならない事業ではないかと考えますが、継承の育成もできないのは国家の損失と言っても過言ではないと考えます。

大正11年生まれのＳＬ人吉は2009年4月25日に復活し、2019年に運行10周年を人吉駅においてお祝いしました。また、昨年は100歳のお祝いをしました。人吉駅でお祝いできなかったのがとても残念でした。次の目標は引退後の人吉駅での動態展示に向けて官民一体となり取り組んでいきたいと考えております。

結びに、今後、ＪＲと国、県、自治体、そして地域住民が一体となって 肥薩線の復旧に向けてお願いしていかなければならないと思う次第であります。川本駅長も苦しい立場かもしれませんが、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げまして謝辞といたします。本日はどうもありがとうございます。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

- **石蔵会員**　ＳＬ人吉復活へ 小倉へ取材に行った時の事を懐かしく思い出しました。また、人吉で見てみたい！！
- **井手会員**　川本駅長様、ハチロク、「ＳＬ人吉」の詳しい活躍の卓話をありがとうございました。ますます「ＳＬ人吉」のファンになりました。
- **大久保会員**　ＳＬ人吉の引退、一抹の寂しさを感じます。是非人吉の方にＳＬが展示されますよう、又、肥薩線の開通を願っております。川本駅長、卓話ありがとうございました。
- **北会長**　川本駅長、本日はありがとうございました。青柳会長の復旧、再開の英断を期待しております。

点 鐘　　北　昌二郎 会長